

各学校において学習評価の信頼性を高める取り組みが最も大切であると考えている。

【意見】 小原議員

学校間での格差が存在し、何らかの基準が必要だと思われる。この全国学力テストを公表している泉佐野市では、「これは全てではない」との説明を添えて、学校別の成績を公表している。本市の教育委員会の見解では、公表は弊害が多いとの見解だが、学校別成績公表を検討されるよう要望する。

④ 健康寿命府内一番に なるための市民活動



【質問】 小原議員

まちづくり研究会の分科会で「大阪狭山市を府内で健康寿命を一番にしようとの案」が検討されている。日本は平均寿命・健康寿命とも世界で1番である。大阪府後期高齢者広域医療連合が担当している後期高齢者（75歳以上）の人口は約95万人。一人当りの年間の医療費は約100万円で全国ではワースト5位になっている。まず本市から後期高齢者を含めて40兆円にも及ぶ医療費の削減と健康寿命の延伸を目指す方策について見解を伺う。

【答弁】 保健福祉部長

本市は本年3月に策定した健康大阪さやま21第2次計画に基づき、乳幼児期から高齢期にわたる全てのライフステージにおいて健康づくりに取り組んでいる。

後期高齢者の医療費については、疾病の早期発見、早期治療や予防の観点から、健康診

査や人間ドックの実施、医療費通知の発送、ジェネリック医薬品の利用促進等々抑制に努めている。本市では本年11月から健康づくり応援団を養成する講座を実施する予定でこの講座を受講された方々に地域における健康づくりの担い手として活躍していただく予定。

⑤ 大阪狭山市駅・狭山駅の有人化

【質問】 小原議員

この問題は、私ばかりか他の市議会議員からも過去何度も質問とか要望がされているが、特に、市役所や文化会館、狭山池博物館など市の主要な施設が近い大阪狭山市駅の有人化について、現在までの南海電鉄との話し合い結果を伺う。

【答弁】 政策調整室長

以前と変わりが無い状況です。本市としては、大阪狭山市駅や狭山駅が障がい者や高齢者を初め全ての利用者にとり安全で安心して利用できる駅であることを望んでいて、築造1400年記念の年でもあり駅係員の再配置が実現されるよう理解を求めて行く。

【第2質問】 小原議員

本市の対南海電鉄との交渉担当部局はどこか。市の担当は今まで幾度南海へ交渉に行っていたか。

【答弁】 政策調整室長

窓口は政策調整室だが、今まで交渉には一度も行ってない。今後の予定としては、狭山池築造1400年の記念の年を迎えるので今議会終了後、改めて南海電気鉄道に要望したい。

【意見】 小原議員

南海へ一度も行ってないのは「何故」か。必要性への理解が足りないのは残念である。来年1400年のイベントと関係なく本市の強い意思を表明すべきである。

⑥ プレミアム商品券について

【質問】 小原議員

配付方法について、多くの苦情が耳に入っている。事業の詳細を伺う。

【答弁】

事業の詳細は、商品券の販売総数を2万5000冊とし、内2万冊については市内在住の方を対象に7月中旬に事前予約を受け付けた。応募者が多数のため、8月4日に公開抽せん会を実施し、残部を9月1日に並んで頂き、先着順に整理券を配布した。当日、混雑を避けるため、総勢53名で駐車場への誘導等に当たったが、整理券配布に時間を要し、結果として市民の皆様にはご迷惑をおかけした。

【意見】 小原議員

当日は千二、三百名の方が市役所の空き地に並んで大変混雑していた。高齢者や女性が、暑い季節に長時間並ぶのは大変だった。結果論だが、2万冊の抽選の時に6万9000冊の申込があつたのだから、抽選で処理すれば混乱がなかった筈だ。事前によく検討し、苦情が殺到することの無いように実施して頂きたい。

